

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	九州ルーテル学院大学
設置者名	学校法人九州ルーテル学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名 専攻名コース名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人文学部	人文学科 キャリア・イングリッシュ 専攻	夜・ 通信	23	0	15	38	13	
	人文学科 こども専攻保育コース	夜・ 通信			48	71	13	
	人文学科 こども専攻児童教育コー ス	夜・ 通信			38	61	13	
	心理臨床学科 (心理学領域)	夜・ 通信		4	24	51	13	
	心理臨床学科 (特別支援教育学領域)	夜・ 通信			24	51	13	
	心理臨床学科 (精神保健福祉学領域)	夜・ 通信			58	85	13	
(備考)								

※記入欄は、必要に応じて、追加・統合可。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/kamokuichiran.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 (該当なし)
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州ルーテル学院大学
設置者名	学校法人九州ルーテル学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学院 HP https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Trustees2019_2.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前理事長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	経営全般
非常勤	元社会福祉法人施設長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	コンプライアンス
非常勤	教会牧師	2016.10.1 ～ 2020.9.30	教会との連携
非常勤	市社会福祉協議会会長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	福祉施設業界関連 情報の還元
非常勤	学校法人理事長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	教育全般・教学マネジ メント
非常勤	中高同窓会会長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	卒業生との連携
非常勤	短大・大学同窓会会長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	卒業生との連携
非常勤	会社代表取締役	2019.3.20 ～ 2020.9.30	財務運営及び経営
非常勤	会社代表取締役社長	2016.10.1 ～ 2020.9.30	財務運営及び経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州ルーテル学院大学
設置者名	学校法人九州ルーテル学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>「シラバス作成のためのガイドライン」に基づき作成し、学内向けには3月末にWebポータルシステム上に公開し、その後、大学ホームページ上にも公開している。ガイドラインには、シラバス作成の目的、シラバスの定義、作成方法、記載項目と記載方法、記載にあたっての注意事項等を明記している。記載内容としては、各科目の該当するディプロマ・ポリシーの番号、ナンバリング、授業の概要、到達目標、各週の授業計画、事前・事後学修内容、評価方法・観点別評価のポイント等を必須としている。更に、2019年度からは備考欄に「実務経験を活かした授業」についての記載を加えた。科目担当者が作成したシラバスを「シラバスセルフチェックシート」に基づき点検した後、「シラバスチェック要領」に基づき、学務入試センター長、学科長、専攻主任等による第三者チェックを行う。誤字脱字のみでなく、内容もチェックし、修正が必要と思われる場合は、科目担当者(軽微な修正は学務・入試センター)に修正を求める。第三者チェック担当責任者が修正状況を確認し「シラバスチェック実施管理票」に必要事項を記入し、学務・入試センターに提出して完了とする。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>Webポータルシステム(学内向け)</p> <p>大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/syllabus.php</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第17条(成績評定)に授業時間数の3分の1以上を欠席した科目については、評価から除外することを明記しており、学修意欲や学修成果が見込めない出席状況の場合は単位が認定されないことを定めている。その上で科目毎には、シラバスに評価方法(試験、レポート、平常点など)や評価のポイントを割合(%)で示し、それぞれの観点(知識、意欲、技能など)も明記している。総合的に点数化し、秀・優・良・可・不可の5段階で評価する。各評価の目安は「GPA制度に関する規程」に「評価の説明」として明記し、厳格な成績評価を教員と学生が、相互で理解推進するため、成績評価について学生からの異議申立てを受付ける機会を設け対応している。</p> <p>学びの集大成とも言える卒業論文については、「卒業研究」(4年次必修科目)の前段階となる「特別研究」(3年後期必修科目)の着手に際して、「3年次前期までの修得単位が80単位未満の学生については、「特別研究」の履修を認めないこととする。」という制限を設け、深い学びの上に研究に着手する体制としている。(『九州ルーテル学院大学における教育の質保証に関する規程』第2条(5))</p> <p>また、「卒業研究」は、複数の学科教員や学生を前にした、プレゼンテーションを課し、論文本文のみならず、これも加えて評価を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評定は、秀・優・良・可・不可をもって表し、可以上を合格とする。成績評価は、『成績評定規程』により実施し、G P Aについては、『GPA 制度に関する規程』を設けて運用している。秀=4、優=3、良=2、可=1、不可=0ポイントとし、それぞれの評価の説明(目安)も定めている。GPAの計算方法は、[(科目の単位数)×(成績評価グレードポイント)]の総和/登録科目の総単位数(不合格科目の単位を含む。)とし、少数第3位を切り捨てて表記する。</p> <p>『九州ルーテル学院大学における教育の質保証に関する規程』に示すとおり、学生及び保護者には、各期末に配付する成績通知書に科目評価、修得単位数のほか、個人のGPAも記載し通知している。学内関係部署およびアドバイザーは、必要に応じて「学年学科別GPA順位表」により、各学生のG P A順位の把握、上位2分の1以上、下位4分の1以下、G P A 2.0未満の学生などを把握することが出来る。加えて、学生支援懇談会において、学科、専攻、コース毎のG P A分布をグラフ等の資料により教職員が把握する機会を設け、学年毎に定める単位数を満たせずかつ、通算G P Aの平均値が2.0未満の学生には適宜、指導・支援を行うこととしている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学HP https://www.klc.ac.jp/etc/kisoku/11_gpa.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を学部全体及び学科等ごとに以下のとおり定め、ホームページ等で公表している。</p> <p>学部全体では『厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得し、①広い視野とバランスのとれた判断を可能にする豊かな人間力、②教養と専門に関する知識を身につけ、社会のさまざまな分野で活動できる能力、③社会の動向に関心を持ち、その変化やニーズに対応できる能力を備えた者に学士(人文学)の学位を授与する。』とし、さらに、人文学科キャリア・イングリッシュ専攻では「確かな英語力を備えたグローバル人材育成」のために身に付けるべき能力を、人文学科こども専攻では教育・保育の専門性に関わる能力を、心理臨床学科では心理学、特別支援教育、精神保健福祉の知見を適切に用いた支援に必要な能力や知識を具体的に示し、それらを身に付けることとしている。</p> <p>学びの集大成とも言える「卒業研究」(4年次必修科目)の前段階となる「特別研究」(3年後期必修科目)について、「3年次前期までの修得単位が80単位未満の学生については、「特別研究」の履修を認めないこととする。」という制限を設け、深い学びを持って研究に着手する体制としている。(『九州ルーテル学院大学における教育の質保証に関する規程』第3条(6))</p> <p>また、学則に示す卒業要件の審査は、卒業判定会議において行い、一人ひとりの卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/admissionpolicy-c2019.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	九州ルーテル学院大学
設置者名	学校法人九州ルーテル学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Statement_of_Accounts_2018.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Statement_of_Accounts_2018.pdf
財産目録	https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Property_2018.pdf
事業報告書	https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Annual_Report_2018.pdf
監事による監査報告(書)	https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Internal_Auditors_2018.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書 対象年度: 2019)
公表方法: 学院HP https://kluther-gakuin.jp/disclosure/pdf/Annual_Plan_2019.pdf
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/Self_Assessment_College_2018.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学HP https://www.klc.ac.jp/etc/juaa.php
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的 (公表方法: 大学 HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/kenkyujonomokuteki2013.pdf)
(概要) 人文学部では、キリスト教主義に沿った人格教育を基に、幅広い教養教育と専門に関する基礎を身に付け、グローバルな視野とボランティア精神を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。更に、人文学科キャリア・イングリッシュ専攻、人文学科こども専攻、心理臨床学科でそれぞれの目的を定めている。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学 HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/admissionpolicy-c2019.pdf)
(概要) 厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得し、①広い視野とバランスのとれた判断を可能にする豊かな人間力、②教養と専門に関する知識を身につけ、社会のさまざまな分野で活動できる能力、③社会の動向に関心を持ち、その変化やニーズに対応できる能力を備えた者に学士(人文学)の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学 HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/admissionpolicy-c2019.pdf)
(概要) 人文学科キャリア・イングリッシュ専攻: 少人数教育により、実践的な英語運用能力、ビジネスの知識や IT スキルを身に付け、リベラルアーツ科目を学び、卒業後に国際社会や英語教育界等で活躍できる人材を育成するためのカリキュラムを編成し実施する。 人文学科こども専攻保育コース: 教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門的知識・技能を身につけ、感恩奉仕の精神を抛り所にし、保育者として、心身共に健全な人材を育成するためのカリキュラムを編成し実施する。 人文学科こども専攻児童教育コース: 児童教育に携わる者としての使命感を持ち、豊かな人間性と高い専門知識・技能を身に付け、グローバルな視野を持って現代の教育課題に柔軟に対応できる人材を育成するためのカリキュラムを編成し実施する。 心理臨床学科: 他者および人間環境を幅広い視点で理解・受容するとともに、現代の世情や地域・現場ニーズを考慮しながら、鋭い感性と的確な判断力に基づいて問題解決を図ることができる人材を育成するためのカリキュラムを編成し実施する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 大学 HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/admissionpolicy-c2019.pdf)
(概要) 人文学部では、基本理念に沿いグローバルな視野とボランティア精神を培い専門に関する基礎を身に付けるために、各学科等において具体的に、どのような意欲・熱意、能力・態度を持った人を積極的に受け入れるかを示している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: 大学 HP https://www.klc.ac.jp/departments/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織 の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
人文学部	—	15人	17人	3人	0人	0人	35人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			73人				73人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学HP https://www.klc.ac.jp/profile/staff.php					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD・SD委員会の主催による、授業参観ウィーク（年に1回1週間の授業公開期間を設けて行う教員相互の授業参観）、FD研修会（ICTの活用法、シラバス作成法、研究倫理等）の他、学生による授業評価アンケート結果に基づく授業改善計画の作成と公開、教育・研究面で優れた成果を挙げた教員を表彰する教育実践奨励賞・研究活動奨励賞、教育改革や研究への取り組みを助成する教育改革・研究奨励制度等により、教育内容・方法の改善、教員の意欲の向上を図っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	150人	192人	128%	600人	721人	120%	0人	1人
合計	150人	192人	128%	600人	721人	120%	0人	1人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部	184人 (100%)	14人 (7.6%)	157人 (85.3%)	13人 (7.1%)
合計	184人 (100%)	14人 (7.6%)	157人 (85.3%)	13人 (7.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先： 熊本大学大学院、福岡女学院大学大学院、久留米大学大学院 ほか				
就職先： 一般企業（肥後銀行、平田機工、全日本空輸、日本郵便 ほか）				
保育園、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校 等				
熊本県（公務員）、病院施設（県内の医療・福祉・施設） 等々				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人文学部	178人 (100%)	171人 (96.1%)	2人 (1.1%)	5人 (2.8%)	0人 (0.0%)
合計	178人 (100%)	171人 (96.1%)	2人 (1.1%)	5人 (2.8%)	0人 (0.0%)
(備考) 2015年度入学者					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 各科目の授業の方法及び半期または通年の授業計画については、シラバスに記載し、学内向けには3月末にWebポータルシステム上に公開し、その後、大学ホームページ上にも公開している。記載内容としては、各科目の該当するディプロマ・ポリシーの番号、ナンバリング、授業の概要、到達目標、各週の授業計画、事前・事後学修内容、評価方法・観点別評価のポイント等を必須としている。更に、2019年度からは備考欄に「実務経験を活かした授業」についての記載を加えた。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各科目の評価は、評価方法ごとの割合を定め、総合的に点数化し、秀（90点以上）、優（80点以上90点未満）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）としている。また、学則に示す卒業要件の審査は、卒業判定会議において行い、一人ひとりの卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	人文学科	124単位	④・無	年間49単位
	心理臨床 学科	124単位	④・無	年間49単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/shitsuhosho.pdf https://www.klc.ac.jp/etc/kisoku/11_gpa.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/gakuseichosa2018.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学HP https://www.klc.ac.jp/campuslife/campusmap.php https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/gakuin-shisetsu.pdf https://www.klc.ac.jp/disclosure/pdf2/shisetsu.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
人文学部	人文学科	600,000円	200,000円	246,000円	施設充実費、教育充実費
	心理臨床学科	600,000円	200,000円	246,000円	施設充実費、教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>前期及び後期開始時に全教(職)員で『学生支援懇談会』を開催している。この懇談会では、気になる学生、欠席が目立つ学生などの情報共有を行い、早期に問題を発見し、対策を考え、一人ひとりであった支援を実施している。</p> <p>また、障がい学生については、申請書提出により『障がい学生サポートルーム』及び『障がい学生サポート委員会』を中心に、支援内容を調整し教授会の議を経て全学的な合理的配慮を行っている。特に、聴覚障がい学生については、本学特別支援教育学領域の教員の協力の下、パソコンテイク、ノートテイク等ができる学生を養成し、障がい学生支援を行っている。</p> <p>さらに、学科及び学年のグループごとに同じ教員が4年間アドバイザー(グループアドバイザー)として、卒業後の進路を視野に入れつつ、学生一人ひとりにきめ細やかな指導を行う体制を整備している。</p> <p>また、『ラーニングコモンズ』として学修環境を整備し、学生の自主的な学修を促す仕組みも整えている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>4月のオリエンテーションにおいて、2年次3年次生には進路カードを提出させ、その後学生全員との個別面談を実施している。内容は学生生活全般での悩み、要望や進路についてのヒアリングを中心としている。4年次生には就職活動に関するアンケートを提出させ、進路の色分けを行い、学生支援センターと教職・保育支援センターで連携の上、個別での指導対応に注力している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生支援センターにおいて、学生が入学時に提出する学生カードの記載事項及び4月に全学生が受診する健康診断の結果等を把握し、必要と思われる見守りや支援を行っている。心理的ケアとしては、外部のカウンセラー(臨床心理士)による週に一度の学内カウンセリングの場(こころの相談室)を設けている。カウンセリングは予約制で、メール等での申込みにより、自由に相談でき、カウンセリングを受けられる。</p> <p>また、アドバイザー(クラス担当教員)を置き、オフィスアワー等を活用して、学生生活全般について相談しやすい環境を整備している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学HP https://www.klc.ac.jp/disclosure/
